

『ポスト冷戦研究会』 第1報告 (報告者：村上 裕)

テーマ：「中国の国有企業の評価—その諸説と実情—」

2018年5月19日(土)(於) 明治大学(駿河台) 研究棟4階第2会議室

<レジュメ>

はじめに

## 1 中国の企業形態

### (1) 企業の種類とその概念(定義)

(キーワード) 「国有企業」、「国有株支配企業」

### (2) 統計年鑑による鉱工業企業の実情

(キーワード) 企業規模、民営化と株式会社化、企業統治

## 2 国有企業の実情把握(誤認事例) —その1—

### (1) 国有企業の分類に起因する規模・業績の把握の誤認

(キーワード) 国有企業の対象範囲

### (2) 登記形態(組織形態)に拠る企業分類にもとづく把握の事例

(キーワード) 国有企業の対象範囲を小さく(=国有株支配企業は私有企業)

## 3 国有企業の実情把握(誤認事例) —その2—

### (1) 企業の財務分析に起因する経営状況の把握の誤認

(キーワード) 売上高利益率、ROA、重工業と軽工業

### (2) ROAにもとづく把握の事例

(キーワード) ROA または総資産回転率による(売上高利益率に目をつぶる)

## 4 統計データに基づく現在の国有企業

### (1) リーマンショックを転機としての変化

### (2) 国有企業(国有及び国有株支配企業)の売上高利益率、ROAの低下の要因(推定)

### (3) 中国企業は高度成長期の日本企業と異なる

(キーワード) 労働生産性、重工業と軽工業

## 5 まとめ・・・今後の課題

(了)